

科目区分	基礎分野	授業科目	人間関係論
講師名		実務経験の有無	無
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次
<p>目的: 自己理解を深め、対象との援助関係を形成できる基礎的能力を養う。 目標: 1 人間関係の基礎知識を理解できる。 2 他者との関係性をとおして、自己洞察を深めることができる。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 人間関係を理解するための概念や理論	20	1 人間関係の中の自己と他者 1) 関係的存在としての人間 2) 自己認知 3) 対人認知 2 対人関係と役割 1) 対人関係の成立 2) 対人関係の維持と崩壊 3) 対人葛藤と対処 4) 社会的役割 3 態度と対人行動 1) 態度と態度変化 2) 説得的コミュニケーション 3) 攻撃 4) 援助	
2 自己理解と他者理解の実際	9	1 人間関係ワークショップ(オリエンテーション含む)	
	1	試験	
評価方法	筆記試験、レポート、参加状況・態度等		
テキスト	医学書院 人間関係論		
参考資料	必要に応じて適宜紹介する。		
履修上の留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。 提出物は提出日時を厳守すること。 積極的に参加すること。		
備考	人間関係ワークショップでは、他者との関わりをとおして自己をみつめ、他者に与える影響と自己洞察を深める内容とする。		

科目区分	基礎分野	授業科目	ホスピタリティ論
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	1年次
<p>目的: ホスピタリティ(心のこもったもてなし)の基本精神であるホスピタリティ・マインドについて学び、実践できる基礎能力を養う。</p> <p>目標: 1 ホスピタリティの基本が理解でき、看護サービスに活かせる素地を養う。 2 自分の傾向を分析し、良好な人間関係を構築できるコミュニケーション能力を養う。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
	14	1 ホスピタリティの基本 2 ホスピタリティ・マナー 1) 6つの要素 2) 敬語表現(尊敬語・謙讓語・丁寧語) 3 自分を知る「EQ」と「TA」 1) EQ(感情知能指数)とは 2) EQチェック 3) EQを高める 4) TA(交流分析)とは 5) エゴグラム作成 6) 心の状態を高める 4 コミュニケーションとホスピタリティの関係 1) 積極的な聴き方 2) 効果的な話し方 3) 適切な言葉遣い 5 看護サービスとホスピタリティ 1) 患者の心理 2) 顧客満足 3) 看護サービスの中で生きるホスピタリティ	
	1	試験	
評価方法	筆記試験、参加状況・態度等		
テキスト	実践!ホスピタリティ基本コース		
参考資料	必要に応じて適宜紹介する。		
履修上の留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。 積極的に参加すること。		
備考	講義+演習で授業を進める。		